

## 平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	下水道浄化センター	内線等	8009
事業コード		事務事業名	浄化センター維持管理事業	
根拠法令等	下水道法、水質汚濁防止法	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	下水道

### ②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡処理区に居住する住民に対して
手 段	下水道浄化センターで適正な維持管理運転をすることによって
想定する成果	生活環境の向上及び公共用水域の水質保全の安定的維持管理を図る。

### ③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
①年間下水処理量	6,652,926 m <sup>3</sup> /年	6,328,566 m <sup>3</sup> /年	6,752,500 m <sup>3</sup> /年
②年間下水汚泥処分量	3,413 m <sup>3</sup> /年	3,399 m <sup>3</sup> /年	3,650 m <sup>3</sup> /年

### ④成果指標

成果指標名	①	②
処理水質COD達成率		
成果指標の説明	(測定回数－規制値超過回数) ÷ 測定回数 × 100	

### ⑤事業の進捗状況 ( 下水道特別会計 ) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	100.0%
	実績	100.0%	100.0%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	271,101	270,453	303,363
	人件費	13,661	13,675	13,525
	(人数)	1.7	1.7	1.7
	合計	284,762	284,128	316,888
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	284,762	284,128	316,888

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	年間を通して適正な維持管理をしている。
経済効率性	2	2	施設規模に対して流入量が少なく、稼働率が低い。
事務効率性	3	3	民間委託を実施して効率を高めている。
必要性	3	3	市民生活環境をよりよくし、公共水域の環境保全に寄与している。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	小学生等市民の施設見学を毎年実施し、市民に公共下水道をPRできている。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	水質規制強化及び施設老朽化に伴う維持管理への投資効果の向上を図り、下水道の重要性を市民に理解してもらうことが大切である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
水質汚濁防止法第五次総量規制基準で水質規制強化となったCOD、窒素及びリンについて処理方法の改善を平成17・18年度で実施して処理水質の向上を図っている。	

⑧今後改善すべき点

水質汚濁防止法水質規制に合った適正な維持管理及び汚泥処分のリサイクル等への検討、維持管理委託業務では長期継続契約を実施する。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

適正な維持管理のため、予算確保をする。
---------------------

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	下水道浄化センター	内線等	8009
----	-------	-----------	-----	------

事業コード		事務事業名	浄化センター整備事業		
根拠法令等	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	下水道

### ②事務事業の内容

対象(受益者)	下水道浄化センターの処理施設に対して
手段	処理施設の改築を計画的に実施して
想定する成果	処理量(質)の安定と機能の充実にを図る。

### ③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
主要工事	水処理電気設備改築工事 119,314	水処理施設築造機械工事 225,000	水処理施設築造機械工事 180,000
	消化槽回り配管塗装工事 1,785	水処理施設築造電気工事 75,000	水処理施設築造電気工事 70,000
			散気装置移設工事 23,000

### ④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	整備工事達成率	耐震化工事実施率
成果指標の説明	(年間整備工事件数/年間計画整備工事件数) × 100	(耐震化実施済工事費/耐震化対象事業費) × 100

### ⑤事業の進捗状況 (下水道特別会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標①	計画	-	-	100.0%
	実績	100.0%	100.0%	-
成果指標②	計画	-	-	0.0%
	実績	0.0%	0.0%	-
事業費	事業費	141,001	300,000	295,300
	人件費	8,036	8,044	7,956
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	149,037	308,044	303,256
財源内訳	国	76,000	165,000	137,500
	県			
	市債	54,658	115,322	95,570
	その他	2,942	6,178	6,855
	一般財源	15,437	21,544	63,331

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	事業計画時の目標はクリアした。
経済効率性	3	3	予算に見合った成果をあげた。
事務効率性	3	3	人員に見合った成果である。
必要性	3	3	事業主（市）が実施すべきもの。
小計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	当整備事業は、国庫補助金交付の対象となる。設備の耐用年数が決められており、過酷な状況下で稼働している機器の更新計画に基づき毎年実施する必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
水質汚濁防止法第五次総量規制による水質規制強化で平成17・18年度で水処理施設築造工事を実施して高度処理施設に改善した。	

⑧今後改善すべき点

昭和52年8月に供用開始以来、厳しい環境のもとで各機器は稼働しており、長年の使用により腐食、磨耗、劣化が著しく毎年国庫補助金の交付を受けて更新しているが、機能高度化、コスト縮減に努める。また、耐震化の実施も急務である。
---

⑨平成19年度予算に反映する項目

計画実施のため予算確保する。
----------------

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	下水道浄化センター	内線等	8009
事業コード		事務事業名	中水道（下水道再生水）利用事業	
根拠法令等	下水道法	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	下水道

### ②事務事業の内容

対象（受益者）	下水道浄化センター周辺公共用施設に対して
手 段	水洗便所用水、散水用水及び修景用水等の雑用水としての給水設備を整備して
想定する成果	下水道資源である再生水の有効利用を図る。

### ③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
①再生水有効利用量	54,797 m <sup>3</sup> /年	49,544 m <sup>3</sup> /年	55,000 m <sup>3</sup> /年
②再生水有料利用量	30,054 m <sup>3</sup> /年	24,815 m <sup>3</sup> /年	30,000 m <sup>3</sup> /年
③再生水利用料金	3,606,480円/年	2,977,800円/年	3,600,000円/年

### ④成果指標

成果指標名	①	②
再生水有効利用率		収益率
成果指標の説明	$(\text{再生水有効利用量} / \text{再生水処理能力}) \times 100$	$(\text{利用料金} / \text{事業費}) \times 100$

### ⑤事業の進捗状況（下水道特別会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	43.1%
	実績	42.9%	38.8%	-
成果指標 ②	計画	-	-	60.0%
	実績	57.8%	40.3%	-
事業費	事業費	5,430	6,591	6,000
	人件費	804	804	796
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	6,234	7,395	6,796
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	3,606	2,978	3,600
	一般財源	2,628	4,417	3,196

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	全体計画の施設は完成したが、利用が進まない。
経済効率性	2	2	使用料金を上水道料金と比べると割高感がある。
事務効率性	2	2	浄化センター施設の一部として維持管理し、事務効率を上げている。
必要性	3	3	東三河における水不足による恒常的な節水対策、水の大切さをPRするため必要である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	一般企業にアンケート調査を実施して利用を図ったが進んでいない。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	下水道資源である再生水の有効利用と、中水道の役割・重要性への理解が得られることが望まれる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

⑧今後改善すべき点

再生水維持管理水質基準の強化による水質を適合させ利用方法及び利用施設の拡充を図ること。
---

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】